

# 学生調査報告書

— 2021（令和3）年度調査 —

2022（令和4）年6月

横浜商科大学

IR委員会

## 目次

<b>I. 調査の概要</b>	3
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	4
(1) 実施期間	4
(2) 調査・回答方法	4
(3) 調査項目	4
3. 回答結果	5
<b>II. 設問項目一覧</b>	5
<b>III. 設問別調査結果</b>	10

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

本学では学生の生活と意識の把握を通して学生指導と学生生活の支援や改善に資する基礎資料を得ることを目的に、1980年から4年おきに第1回から第9回までの学生調査を「学生生活実態調査」として実施してきた。2016年度には大学IRコンソーシアムに加盟して調査を実施した。2017年度より新たに教学比較IRコモンズに参加し、参加校共通の「ALCS学修行動比較調査」を実施することで参加校と本学の比較が可能となったが、参加校が女子大学中心であることなどから、適切なベンチマーキングを行い、教育内容等の改善に効果的につなげることが難しかった。そこで2020年度は、文部科学省が2019年に試行実施した全国学生調査の設問を基に、本学独自の設問を加えて本調査を実施した。2021年度は文部科学省全国学生調査（第2回試行版）に参加する形で調査を実施した。

調査名	実施年度	調査名	実施年度
第1回学生生活実態調査	1980	学生調査 2016	2016
第2回学生生活実態調査	1984	学生調査 2017	2017
第3回学生生活実態調査	1988	学生調査 2018	2018
第4回学生生活実態調査	1992	学生調査 2019	2019
第5回学生生活実態調査	1996	学生調査 2020	2020
第6回学生生活実態調査	2000	学生調査 2021	2021
第7回学生生活実態調査	2004		
第8回学生生活実態調査	2008		
第9回学生生活実態調査	2012		

## 2. 調査方法

### (1)実施期間

2022年2月1日（火）～2022年3月1日（火）

### (2)調査・回答方法

Web 回答調査

### (3)調査項目

設問は大別すると、以下のとおりである。

- ① 大学の授業について（10問）
- ② 大学での経験について（13問）
- ③ 大学教育で身に付いた知識能力について（12問）
- ④ 大学での学び全体について（8問）
- ⑤ 生活時間について（8問）
- ⑥ 大学に通学した日数について（2問）
- ⑦ 授業形態について（2問）
- ⑧ オンライン授業について（2問）
- ⑨ 大学の学びについて（自由記述）
- ⑩ 本調査について（自由記述）

## 3. 回答結果

## 【学年別】

対象学年	対象数	回答数	回答率
2年生	333	25	7.5%
4年生	356	19	5.3%
合計	689	44	6.4%

## II. 設問項目一覧

1. あなたが在籍する学部（学科）を選択してください。
2. 学部（学科）の分野を選択してください。（自動表示）
3. あなたの学年を選択してください。

## 問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

選択肢：①よくあった、②ある程度あった、③あまりなかった、④なかった）

4. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた。
5. 授業内容やその分野を学びたいという意欲がわく内容だった。
6. 理解しやすいように教え方が工夫されていた。

- 7. 予習・復習などの自主学習について授業やシラバスで指示があった。
- 8. 教員以外にアシスタントなどが配置され、補助的な指導があった。
- 9. 小テストやレポートなどの課題が出された。 ※期末試験は除く
- 10. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された。
- 11. グループワークやディスカッションの機会があった。
- 12. 教員から意見を求められるなど、質疑応答の機会があった。
- 13. 語学科目以外で、主に英語で行われる授業があった。

**問2 大学に入ってから次のような経験はありましたか。また、その経験は有用でしたか。**

**選択肢：①有用だった、②ある程度有用だった、③あまり有用ではなかった、④有用ではなかった、  
⑤経験していない)**

- 14. 大学生生活全般について相談する機会
- 15. 大学での学習の方法（スタディ・スキル）を学ぶ科目
- 16. 研究室やゼミでの少人数教育
- 17. 授業時間以外で、教員に質問や学習の方法を相談する機会
- 18. 授業時間以外で、他の学生と一緒に学習する機会
- 19. キャリアに関する科目、キャリアカウンセリング（就職・進学相談）
- 20. 5日間以上のインターンシップ
- 21. 3か月以上の海外留学・海外研修
- 22. 3か月未満の海外留学・海外研修
- 23. 海外の大学等が提供するオンライン授業（オンライン留学）
- 24. オンラインで海外の大学等の学生と交流する機会
- 25. 学内で自分と異なる文化圏の学生と交流する機会
- 26. 図書館やアクティブ・ラーニングスペースなど大学施設を活用した学習

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力が身に付いたと思いますか。

選択肢：①身に付いた、②ある程度身に付いた、③あまり身に付いていない、④身に付いていない

- 27. 専門分野に関する知識・理解
- 28. 将来の仕事につながるような知識・技能
- 29. 文献・資料を収集・分析する力
- 30. 論理的に文章を書く力
- 31. 人に分かりやすく話す力
- 32. 外国語を使う力
- 33. 統計などデータサイエンスの知識・技能
- 34. 問題を見つけて解決方法を考える力
- 35. 答えのない問題を自分の頭で考え抜く力
- 36. 多様な人々の理解を得ながら協働する力
- 37. 幅広い知識、ものの見方
- 38. 異なる文化に関する知識・理解

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

選択肢：①そう思う、②ある程度そう思う、③あまりそうは思わない、④そうは思わない

- 39. 具体的な目標・目的をもって主体的に学んでいる。
- 40. 大学が学生に卒業時まで身に付けることを求めている力（※）を理解している。  
※ディプロマ・ポリシーに示された知識・能力
- 41. 授業アンケート等の回答を通じて大学教育が良くなっている。
- 42. 教員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。
- 43. 大学での学びによって自分自身の成長を実感している。
- 44. 知識やスキルを組み合わせ一つのものをつくり出す力（デザイン力）が必要だ と感じている。
- 45. 大学での学びを通じて社会に対する理解が深まっている。

4 6. 卒業後も主体的に学び続けていくことの大切さを感じている。

**問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間はそれぞれどのくらいですか。**

選択肢：①0 時間、②1-5 時間、③6-10 時間、④11-15 時間、⑤16-20 時間、⑥21-30 時間、  
⑦31 時間以上)

4 7. 授業への出席 ※実験・実習、オンライン授業を含む

4 8. 卒業論文・卒業研究・卒業制作

4 9. 予習・復習・課題など授業に関する学習 ※卒業論文等は除く

5 0. 授業の予習・復習・課題以外の学習

（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）

5 1. 部活動／サークル活動

5 2. アルバイト／定職

5 3. 趣味／娯楽／交友

5 4. スマートフォンの使用 ※学習のために使用している時間は除く

**問6 今年度の授業期間中にキャンパスへ通った日数は、1週間でそれぞれ何日くらいですか。**

選択肢：①0 日、②1 日、③2 日、④3 日、⑤4 日、⑥5 日以上)

5 5. 前期（4月～9月）

5 6. 後期（10月～3月）

**問7 昨年度と今年度に受けた授業のうち、次の授業形態の割合はそれぞれどのくらいですか。**

<昨年度（令和2年度）／今年度（令和3年度）それぞれについて回答>

選択肢：①0 割、②1-3 割、③4-6 割、④7-9 割、⑤9 割以上

5 7. 同時双方向型オンライン授業（教員や他の学生と同時かつ双方向で質疑やディスカッションを行う授業）



58. オンデマンド型オンライン授業（あらかじめ録画された映像等を使用した授業）

**問8 これまでに受けたオンライン授業（同時双方向型／オンデマンド型）の良かった点・悪かった点について、当てはまるものを全て選択してください。（複数選択）**

<同時双方向型／オンデマンド型オンライン授業それぞれについて回答>

59. 対面授業と比べて良かった点

- 選択肢：①授業が理解しやすい、②教員とのやりとりがしやすい、③他の学生とのやりとりがしやすい、  
④レポート等の課題に取り組みやすい、⑤自分のペースで学習しやすい、  
⑥自由な場所で授業が受けやすい、⑦講義形式の授業が受けやすい、  
⑧実験・実習形式の授業が受けやすい、⑨ゼミ等の少人数教育が受けやすい、⑩当てはまるものはない

60. 対面授業と比べて良くなかった点

- 選択肢：①授業が理解しにくい、②教員とのやりとりがしにくい、③他の学生とのやりとりがしにくい、  
④レポート等の課題が多い、⑤疲労を感じやすい、⑥映像・音声や通信環境により授業が受けにくい、  
⑦講義形式の授業が受けにくい、⑧実験・実習形式の授業が受けにくい、  
⑨ゼミ等の少人数教育が受けにくい、⑩当てはまるものはない

**問9 大学での学びについて意見がありましたら教えてください。（自由記述）**

※匿名調査のため、自分自身や他人の個人情報は入力しないでください。

**問10 本調査について意見がありましたら教えてください。（自由記述 ※匿名調査のため、自分自身や他人の個人情報は入力しないでください。）**

### III. 設問別調査結果

## 問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか

ピボットのフィールド名

Q4 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた。

36.4%

54.5%

6.8%

Q5 授業内容やその分野を学びたいという意欲がわく内容だ..

27.3%

65.9%

4.5%

Q6 理解しやすいように教え方が工夫されていた。

38.6%

52.3%

6.8%

Q7 予習・復習などの自主学習について授業やシラバスで指..

36.4%

50.0%

11.4%

Q8 教員以外にアシスタントなどが配置され、補助的な指導があった。

20.5%

45.5%

11.4%

22.7%

Q10 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却された。

27.3%

27.3%

6.8%

38.6%

Q11 グループワークやディスカッションの機会があった。

45.5%

38.6%

15.9%

Q12 教員から意見を求められるなど、質疑応答の機会があった。

34.1%

43.2%

20.5%

Q13 語学科目以外で、主に英語で行われる授業があった。

15.9%

22.7%

34.1%

27.3%

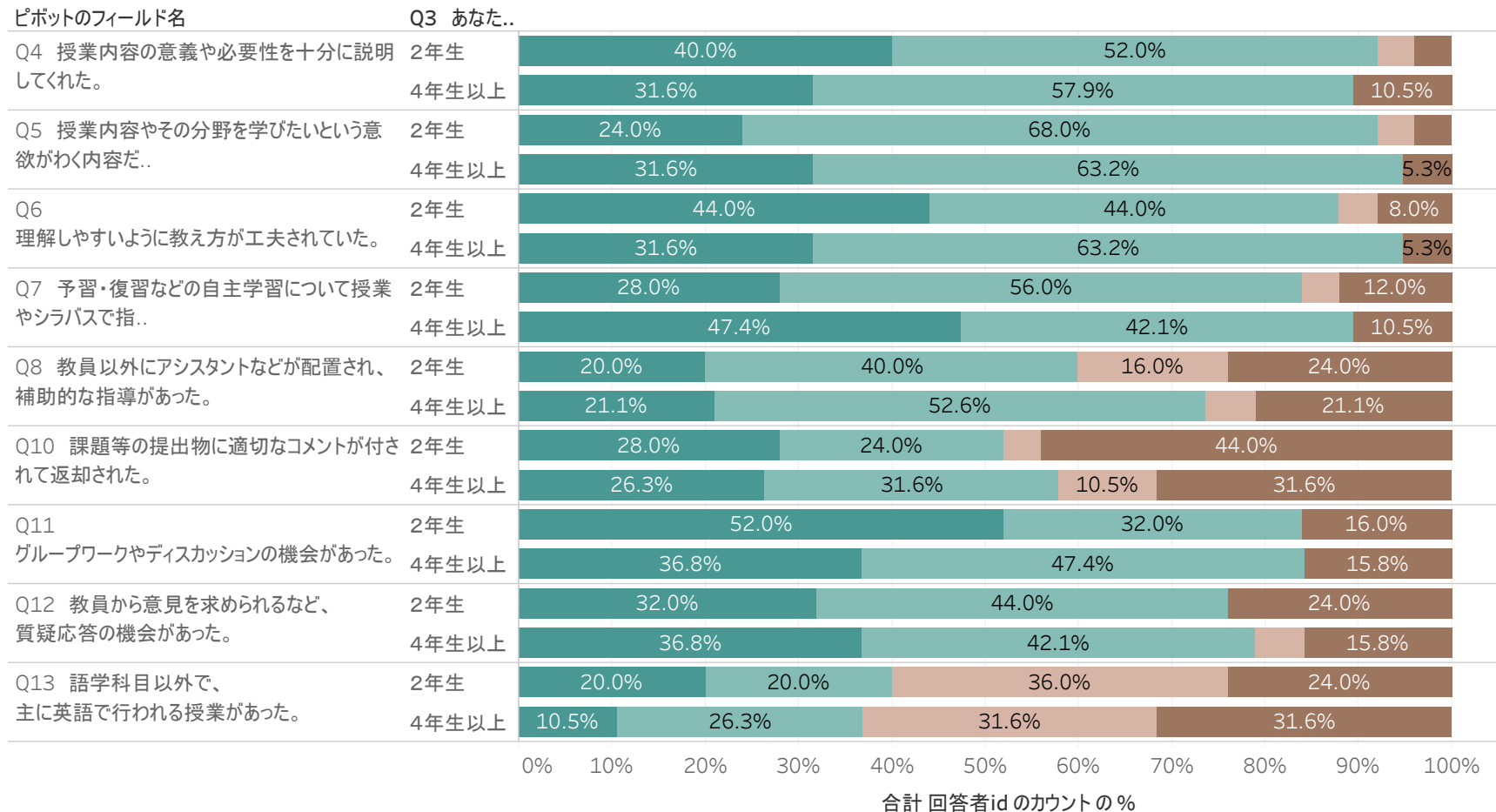
0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 40% 45% 50% 55% 60% 65% 70% 75% 80% 85% 90% 95% 100%

合計 回答者idのカウンの%

ピボットのフィールド値

- あまりなかった
- なかった
- ある程度あった
- よくあった

## 問1.2 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか(学年別)

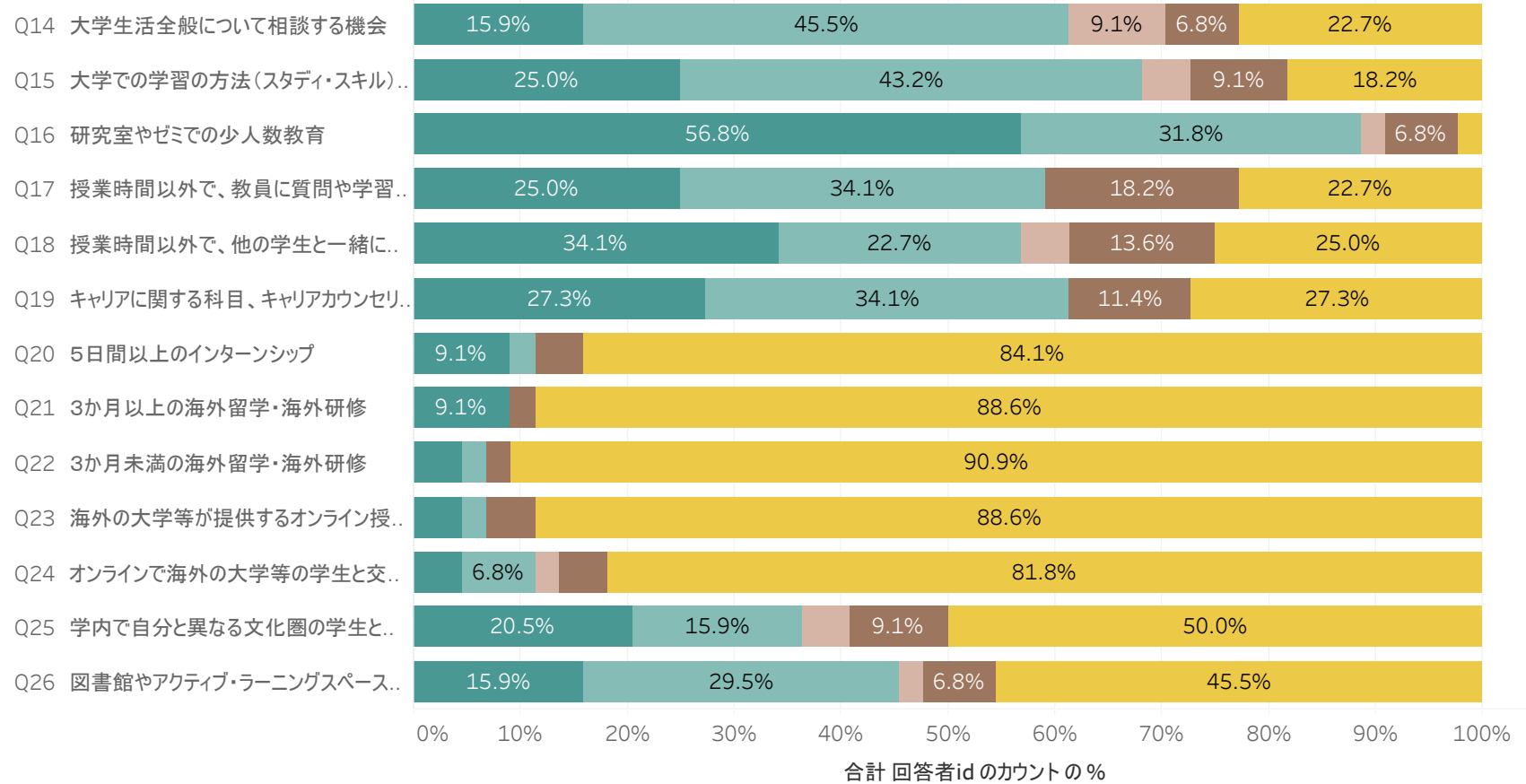


ピボットのフィールド値

- あまりなかった
- なかった
- ある程度あった
- よくあった

## 問2 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか

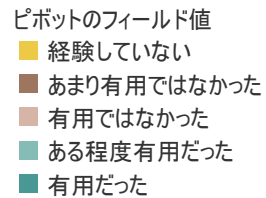
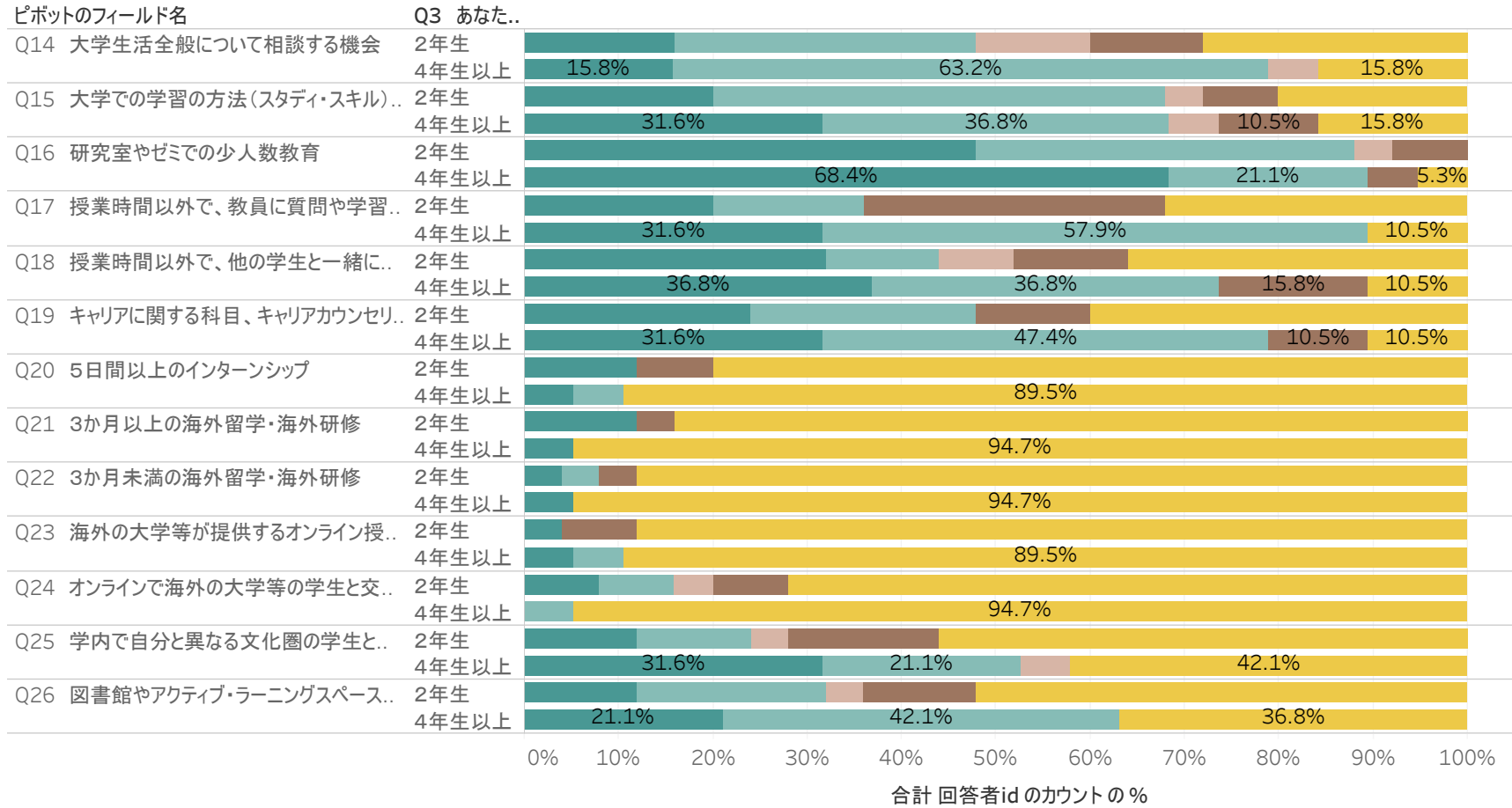
ピボットのフィールド名



ピボットのフィールド値

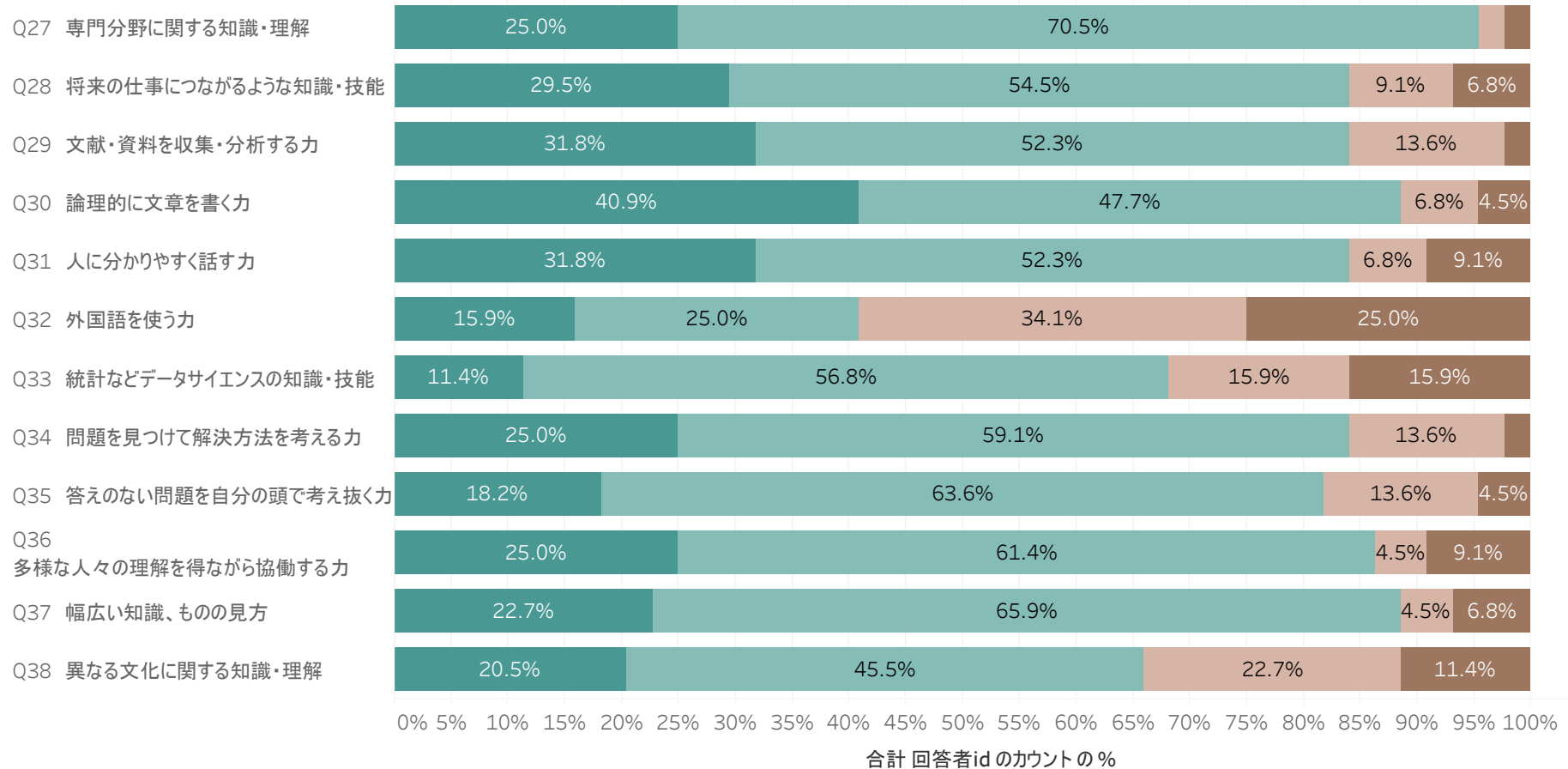
- 経験していない
- あまり有用ではなかった
- 有用ではなかった
- ある程度有用だった
- 有用だった

## 問2.2 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか (学年別)



### 問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力が身に付いたとおもいますか

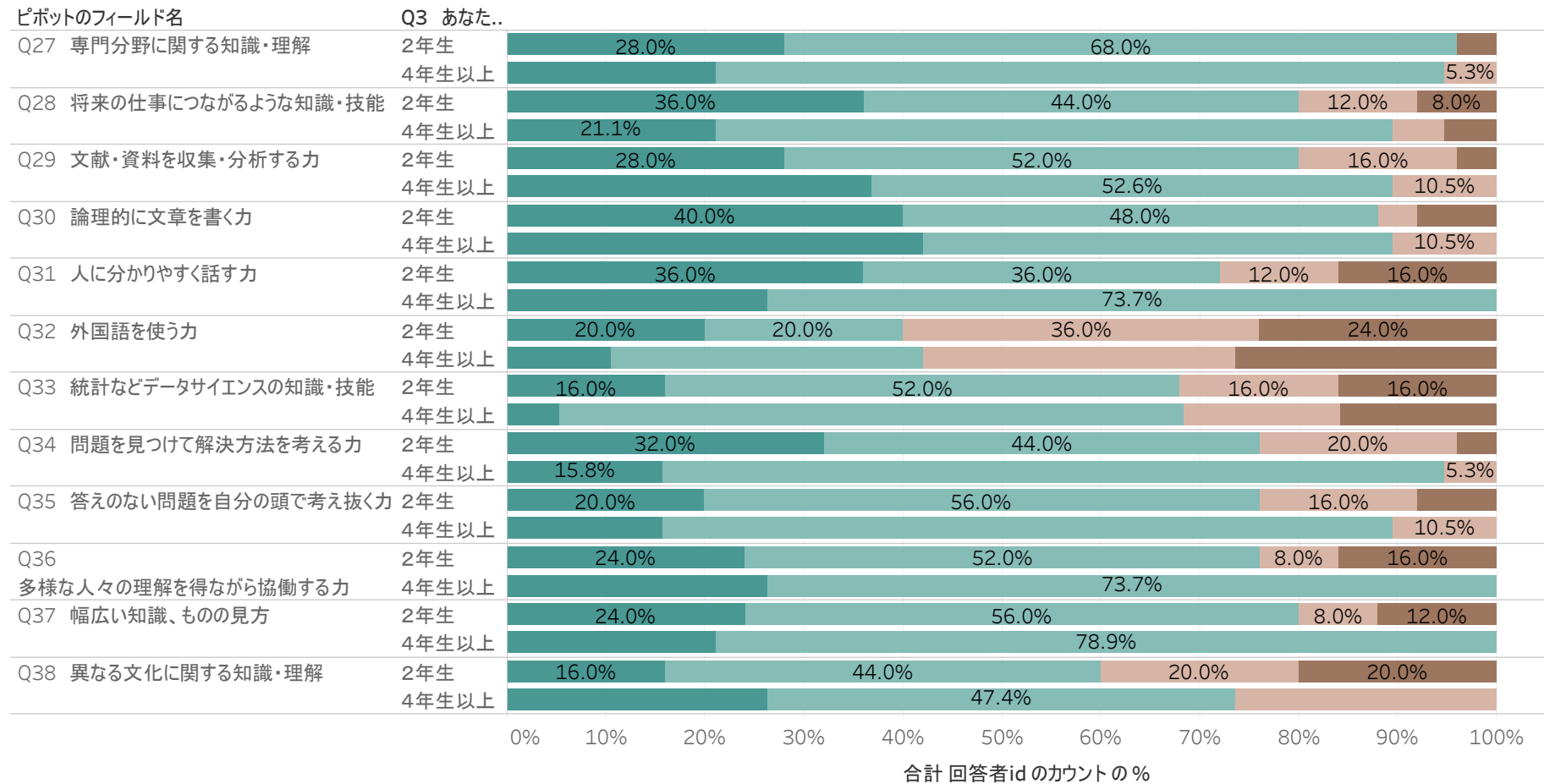
ピボットのフィールド名



ピボットのフィールド値

- 身に付いていない
- あまり身に付いていない
- ある程度身に付いた
- 身に付いた

### 問3.2 大学教育を通じて、次のような知識や能力が身に付いたとおもいますか(学年別)



ピボットのフィールド値

- 身に付いていない
- あまり身に付いていない
- ある程度身に付いた
- 身に付いた



## 問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか

ピボットのフィールド名

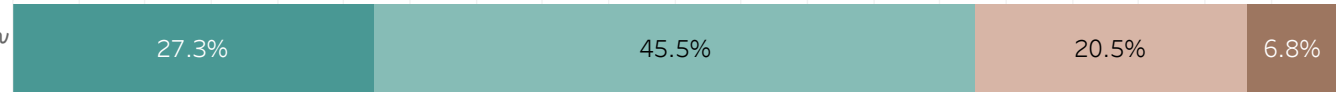
Q39 具体的な目標・  
目的をもって主体的に学んでいる。



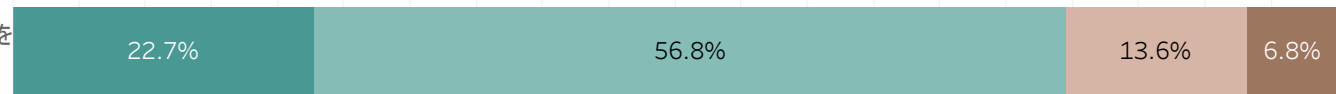
Q41 授業アンケート等の回答を通じて大学教育が良くなっ..



Q42 教員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。



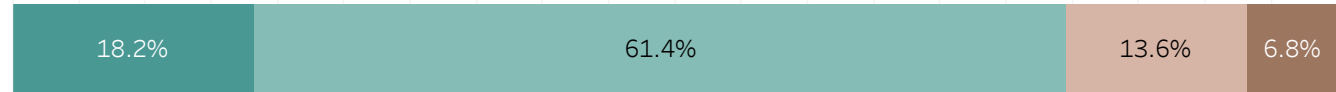
Q43 大学での学びによって自分自身の成長を実感している。



Q44 知識やスキルを組み合わせる一つのものをつくり出す..



Q45 大学での学びを通じて社会に対する理解が深まっている。



Q46 卒業後も主体的に学び続けていくことの大切さを感じ..



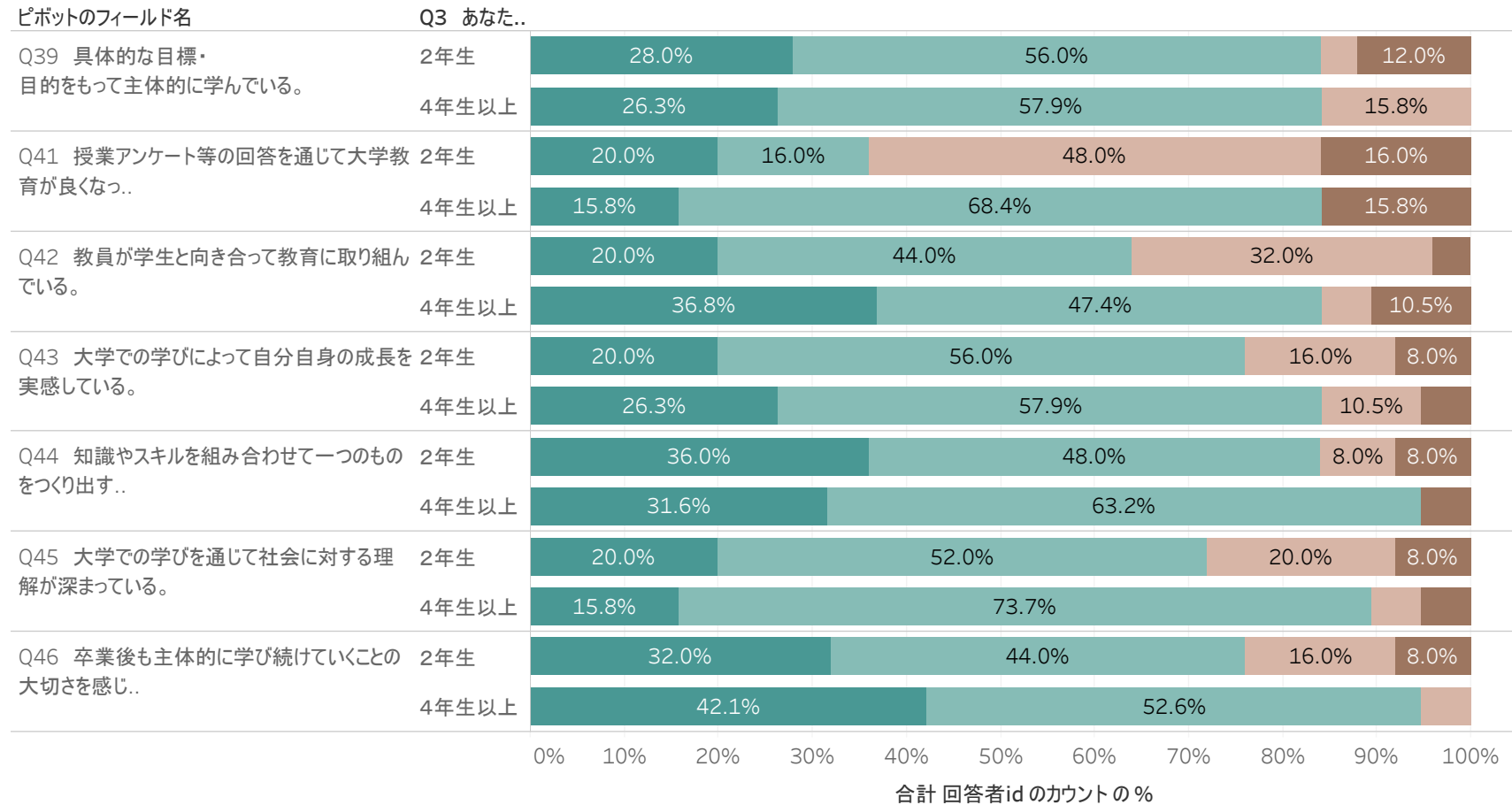
0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35% 40% 45% 50% 55% 60% 65% 70% 75% 80% 85% 90% 95% 100%

合計 回答者id のカウントの %

ピボットのフィールド値

- そうは思わない
- あまりそうは思わない
- ある程度そう思う
- そう思う

## 問4.2 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか（学年別）

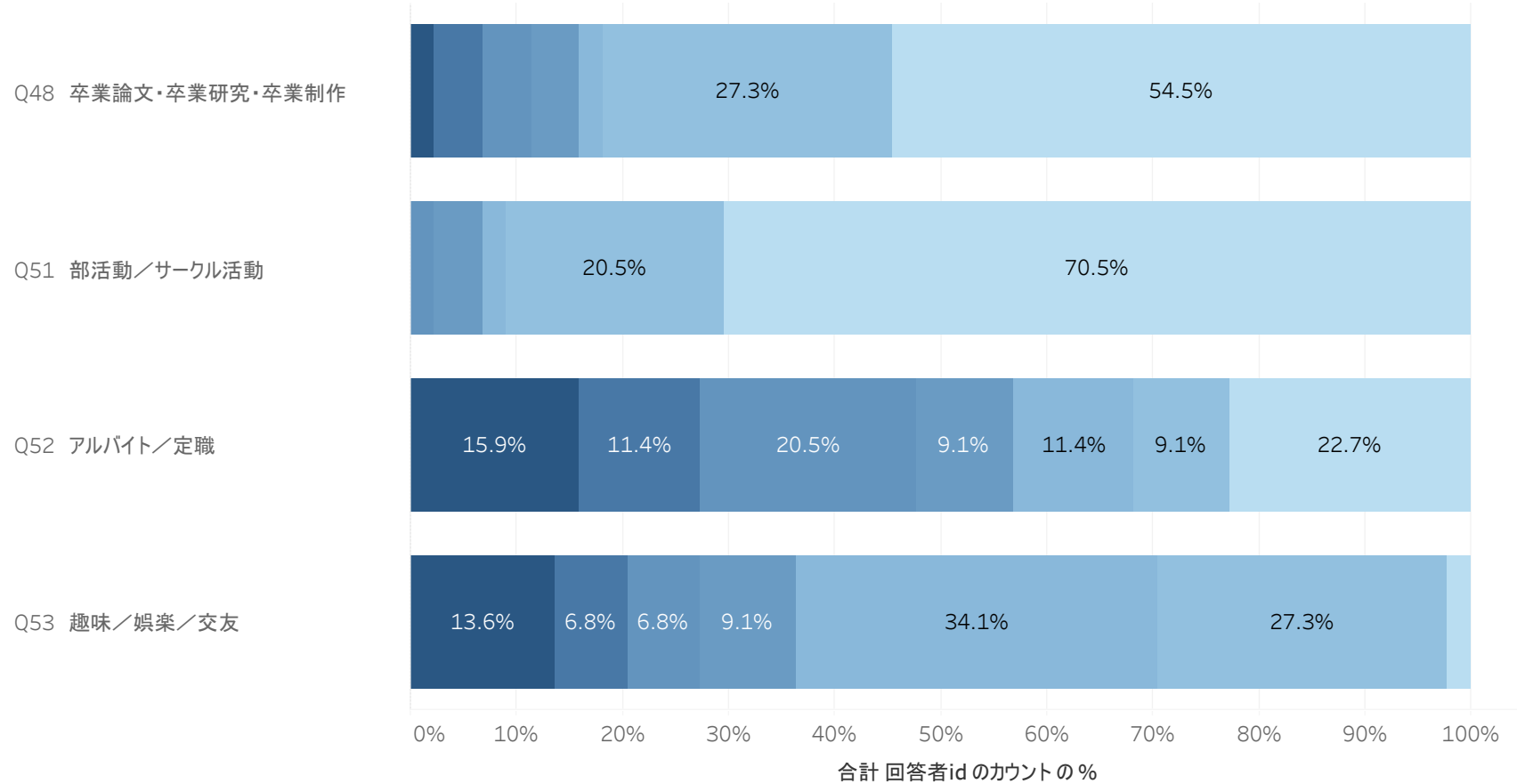


ピボットのフィールド値

- そうは思わない
- あまりそうは思わない
- ある程度そう思う
- そう思う

## 問5 今年度後期の授業期間中の平均的な一週間(7日間)の生活時間はそれぞれどのくらいですか

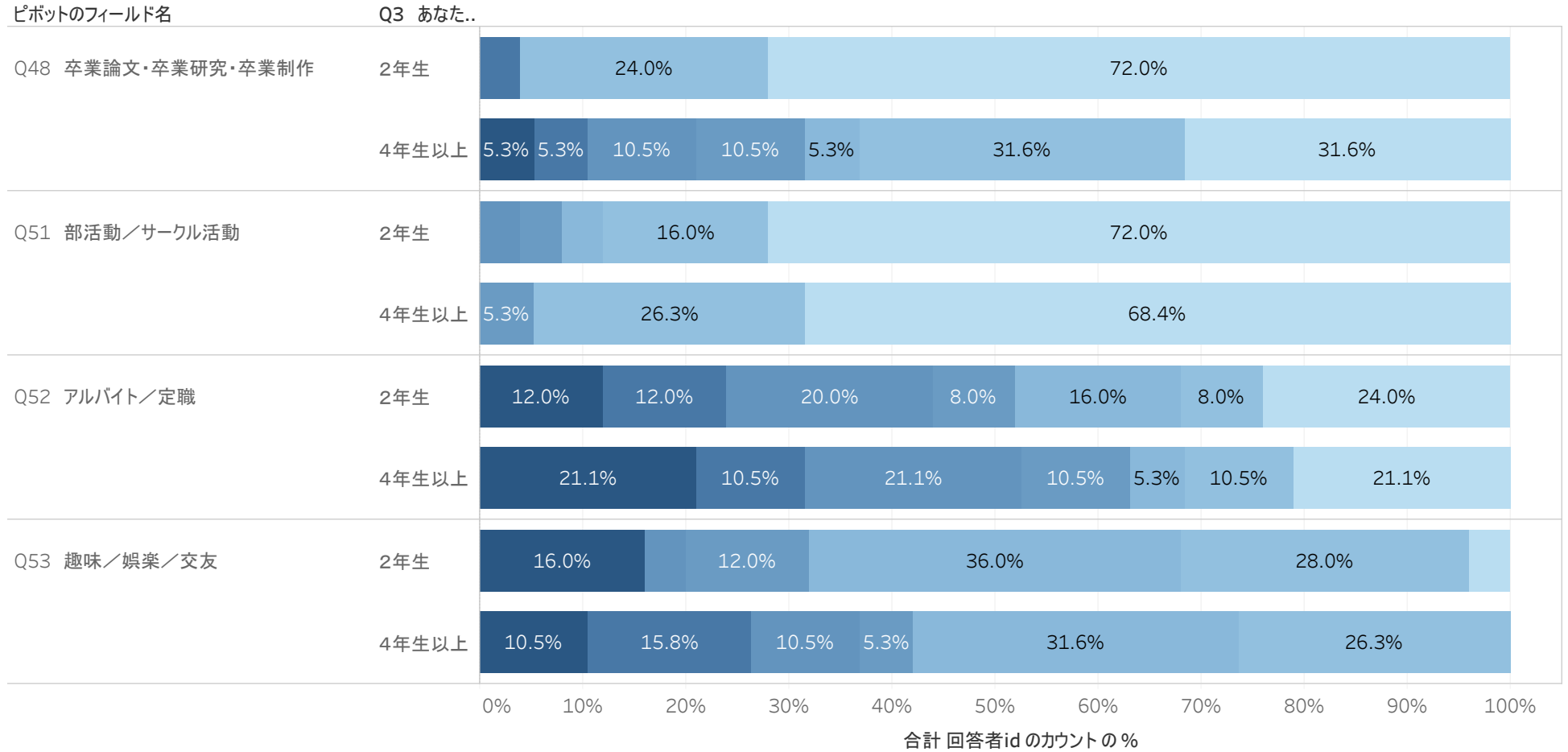
ピボットのフィールド名



ピボットのフィールド値

- 0時間
- 1-5時間
- 6-10時間
- 11-15時間
- 16-20時間
- 21-30時間
- 31時間以上

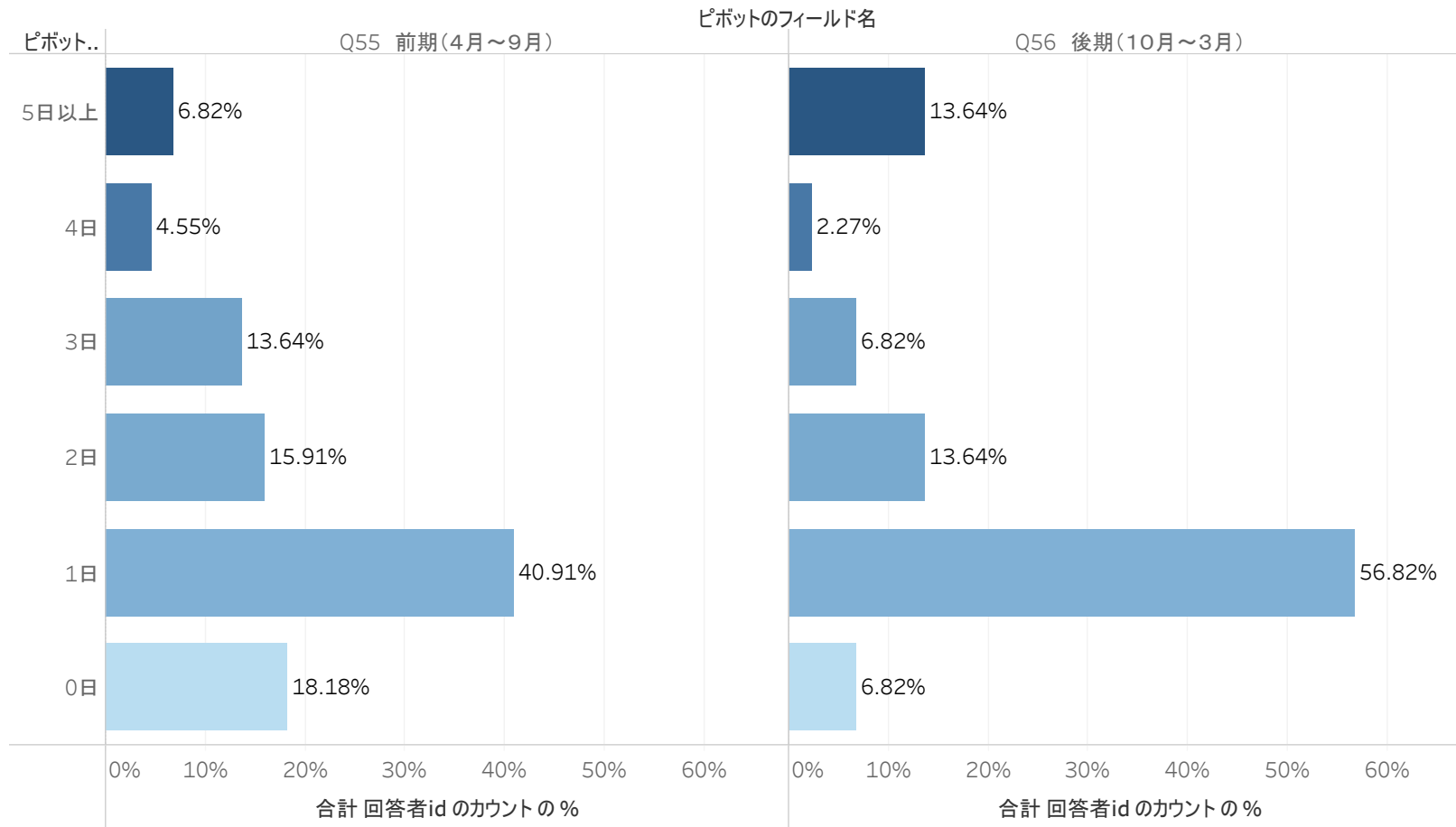
### 問5.2 今年度後期の授業期間中の平均的な一週間(7日間)の生活時間はそれぞれどのくらいですか (学年別)



ピボットのフィールド値

- 0時間
- 1-5時間
- 6-10時間
- 11-15時間
- 16-20時間
- 21-30時間
- 31時間以上

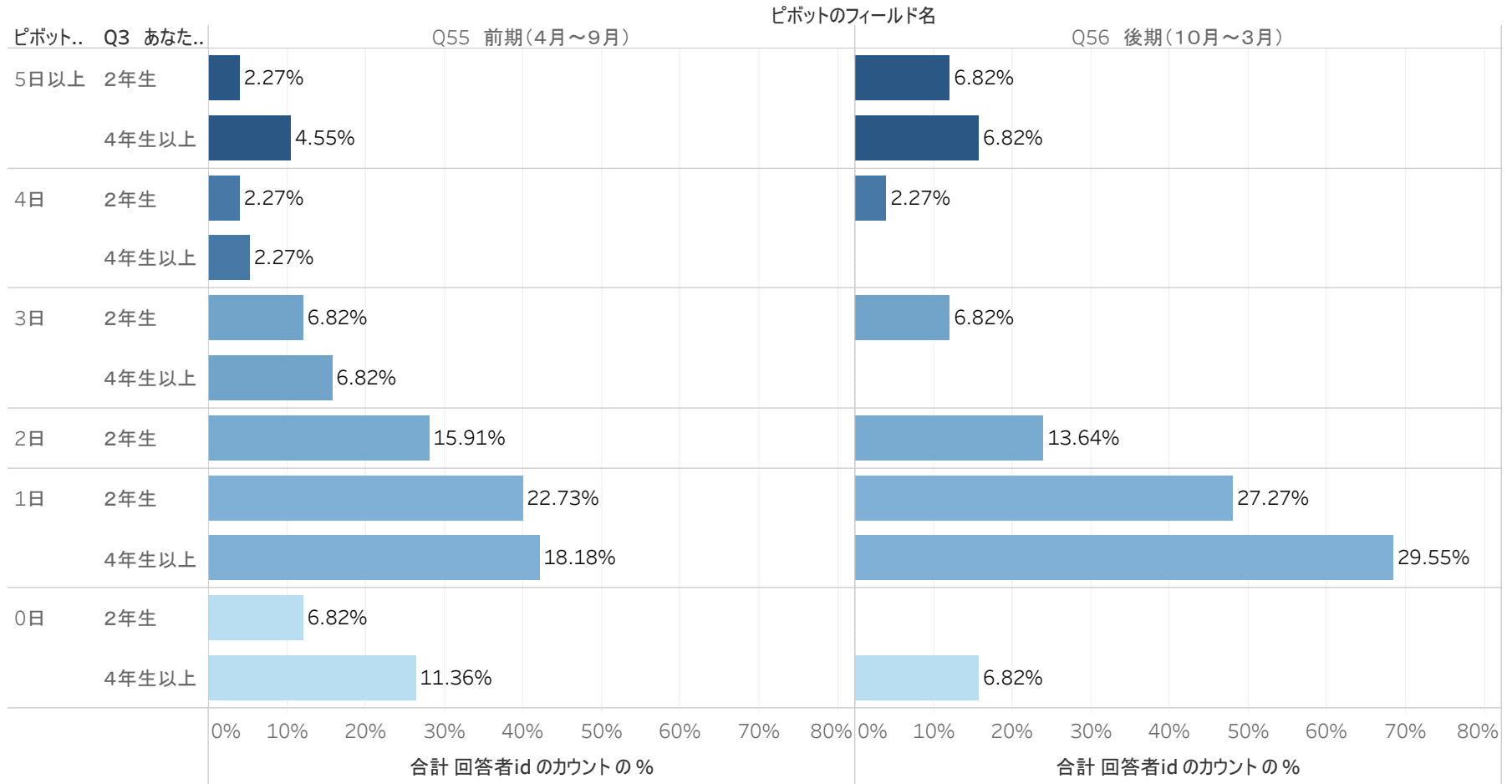
## 問6 今年度の授業期間にキャンパスに通った日数は、一週間でそれぞれ何日くらいですか



ピボットのフィールド値

- 5日以上
- 4日
- 3日
- 2日
- 1日
- 0日

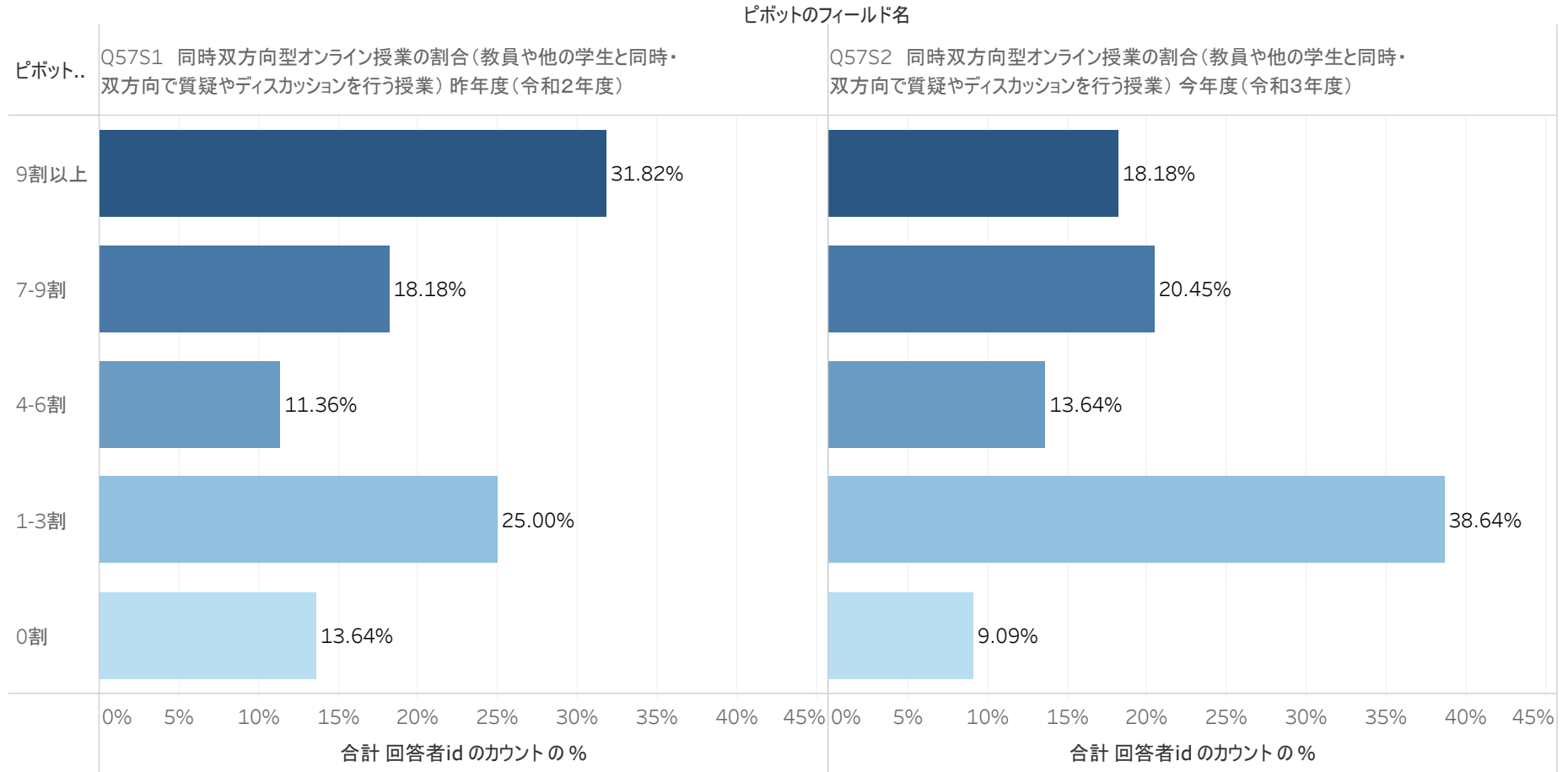
## 問6.2 今年度の授業期間にキャンパスに通った日数は、一週間でそれぞれ何日くらいですか (学年別)



ピボットのフィールド値

- 5日以上
- 4日
- 3日
- 2日
- 1日
- 0日

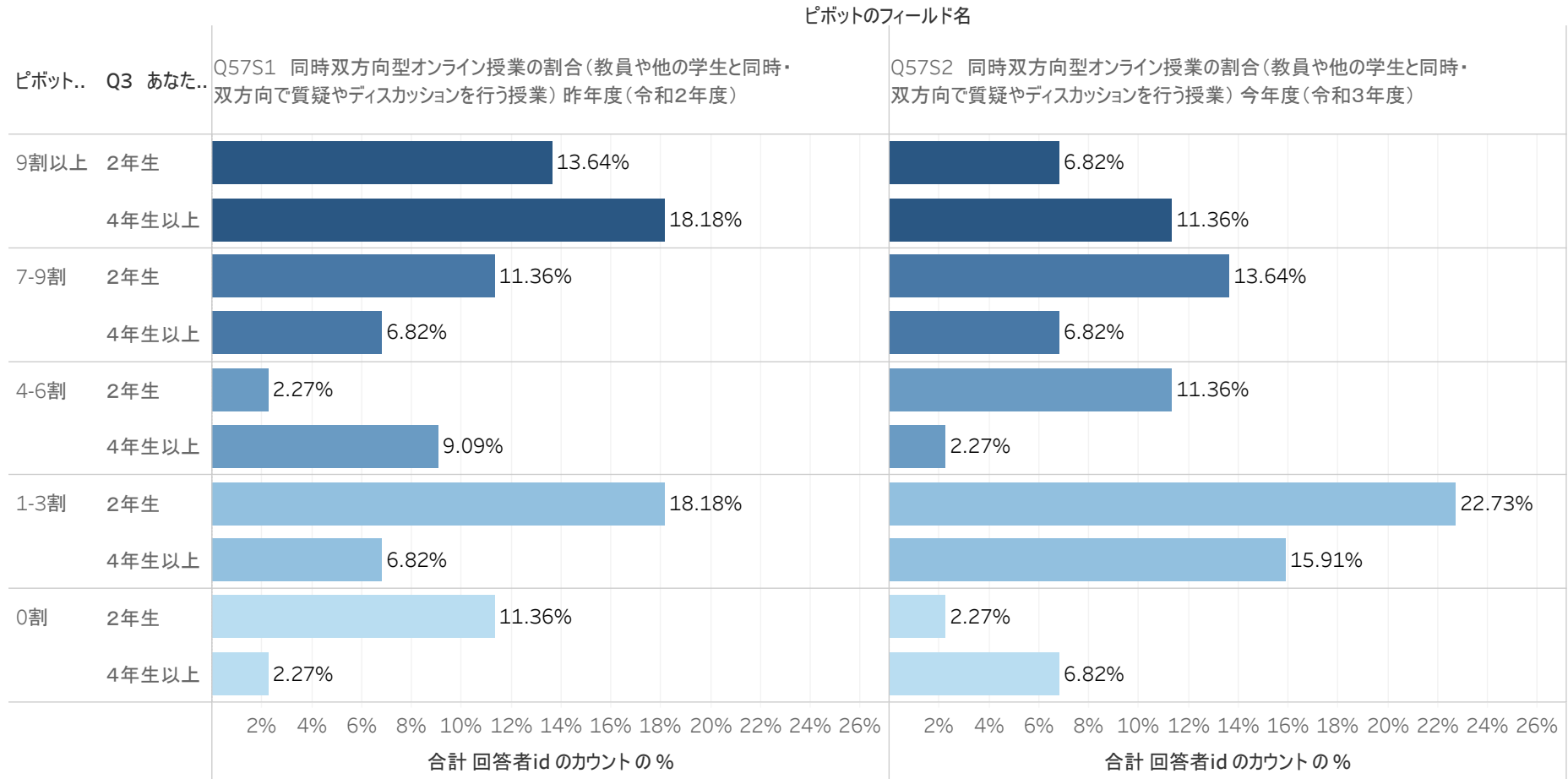
## 問7-1.1 昨年度と今年度に受けた授業のうち、次の授業形態の割合はそれぞれどのくらいですか



ピボットのフィールド値

- 9割以上
- 7-9割
- 4-6割
- 1-3割
- 0割

### 問7-1.2 昨年度と今年度に受けた授業のうち、次の授業形態の割合はそれぞれどのくらいですか (学年別)

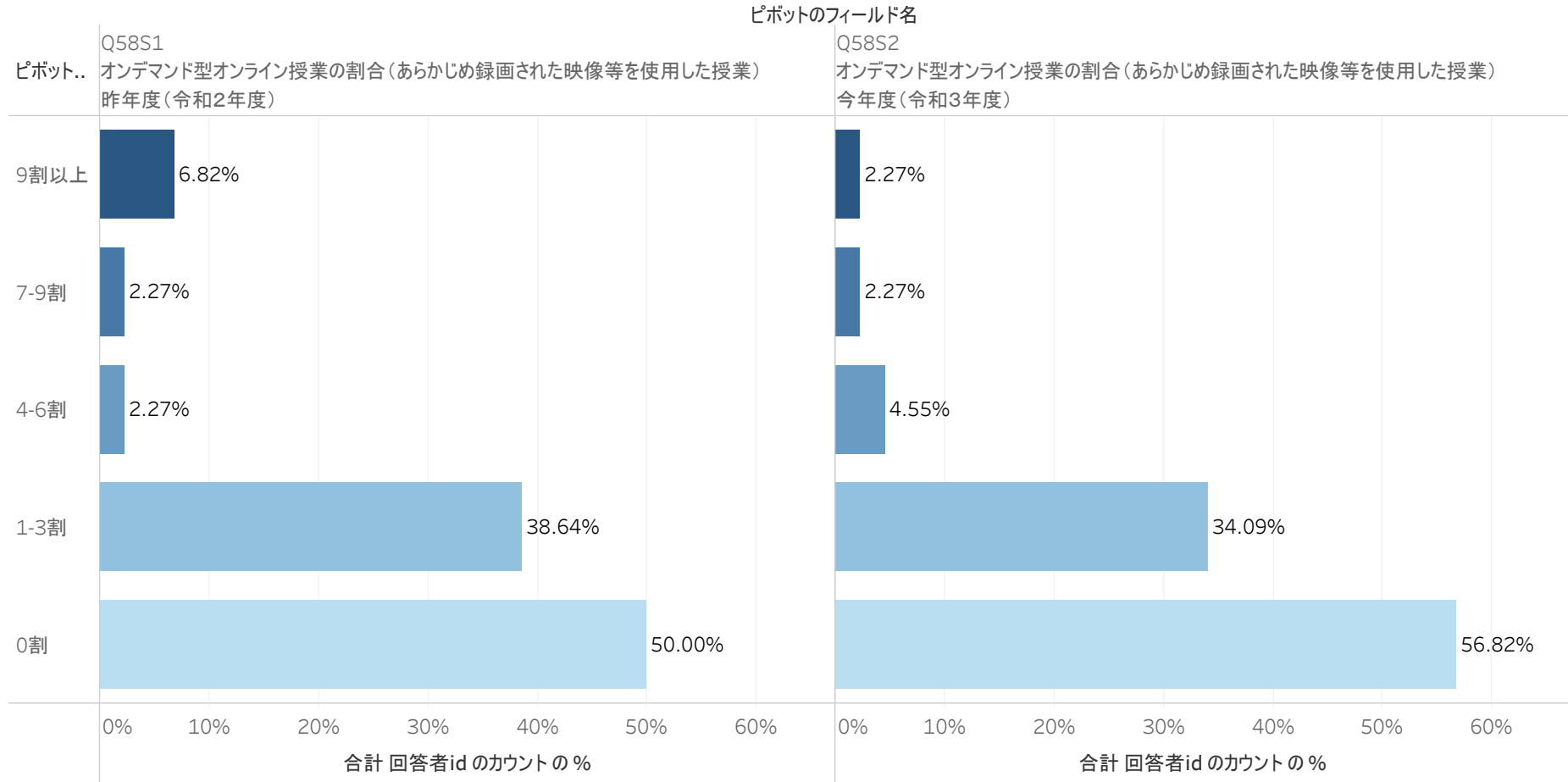


ピボットのフィールド値

- 9割以上
- 7-9割
- 4-6割
- 1-3割
- 0割



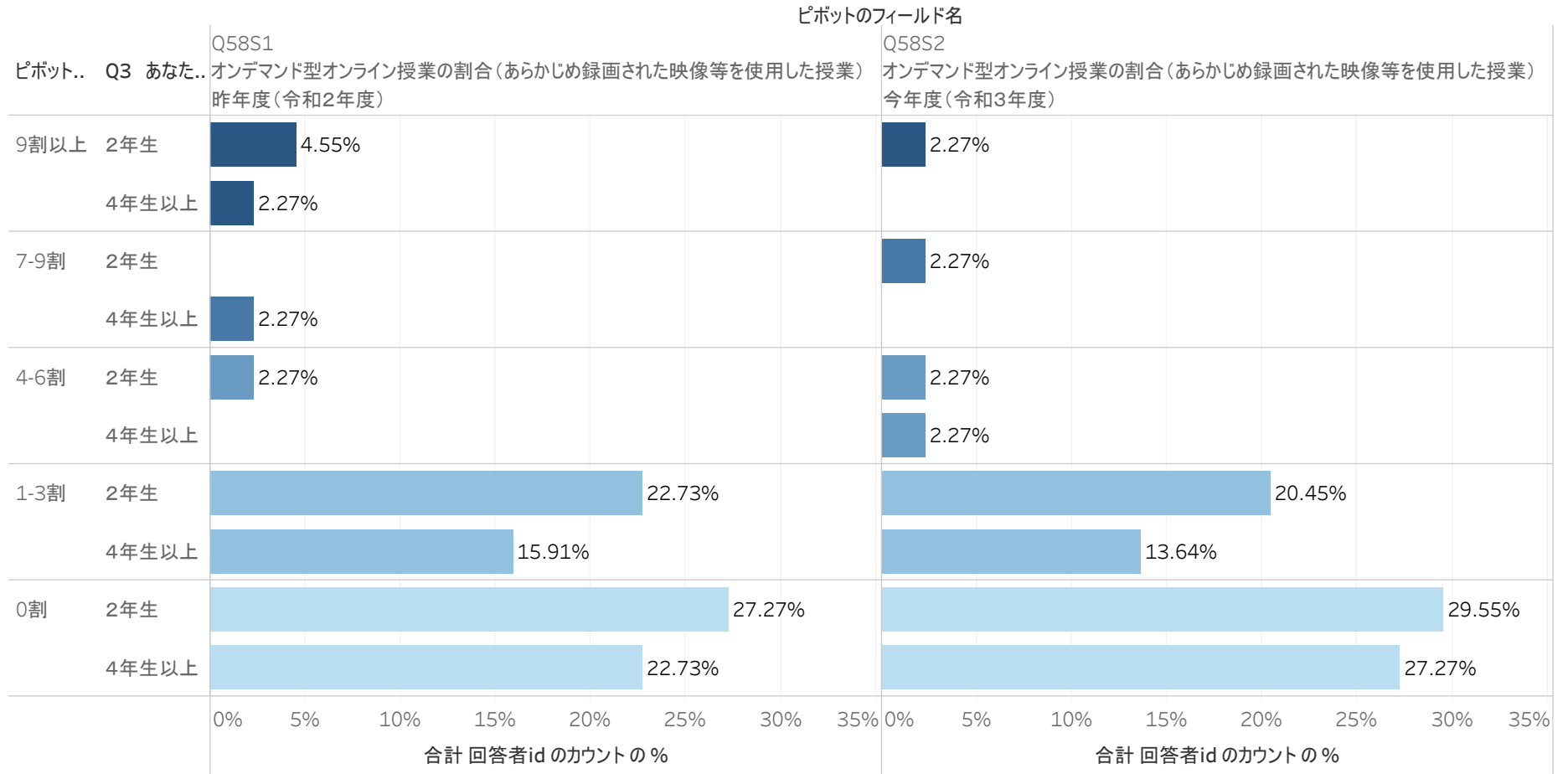
### 問7-2.1 昨年度と今年度に受けた授業のうち、次の授業形態の割合はそれぞれどのくらいですか (2)



ピボットのフィールド値

- 9割以上
- 7-9割
- 4-6割
- 1-3割
- 0割

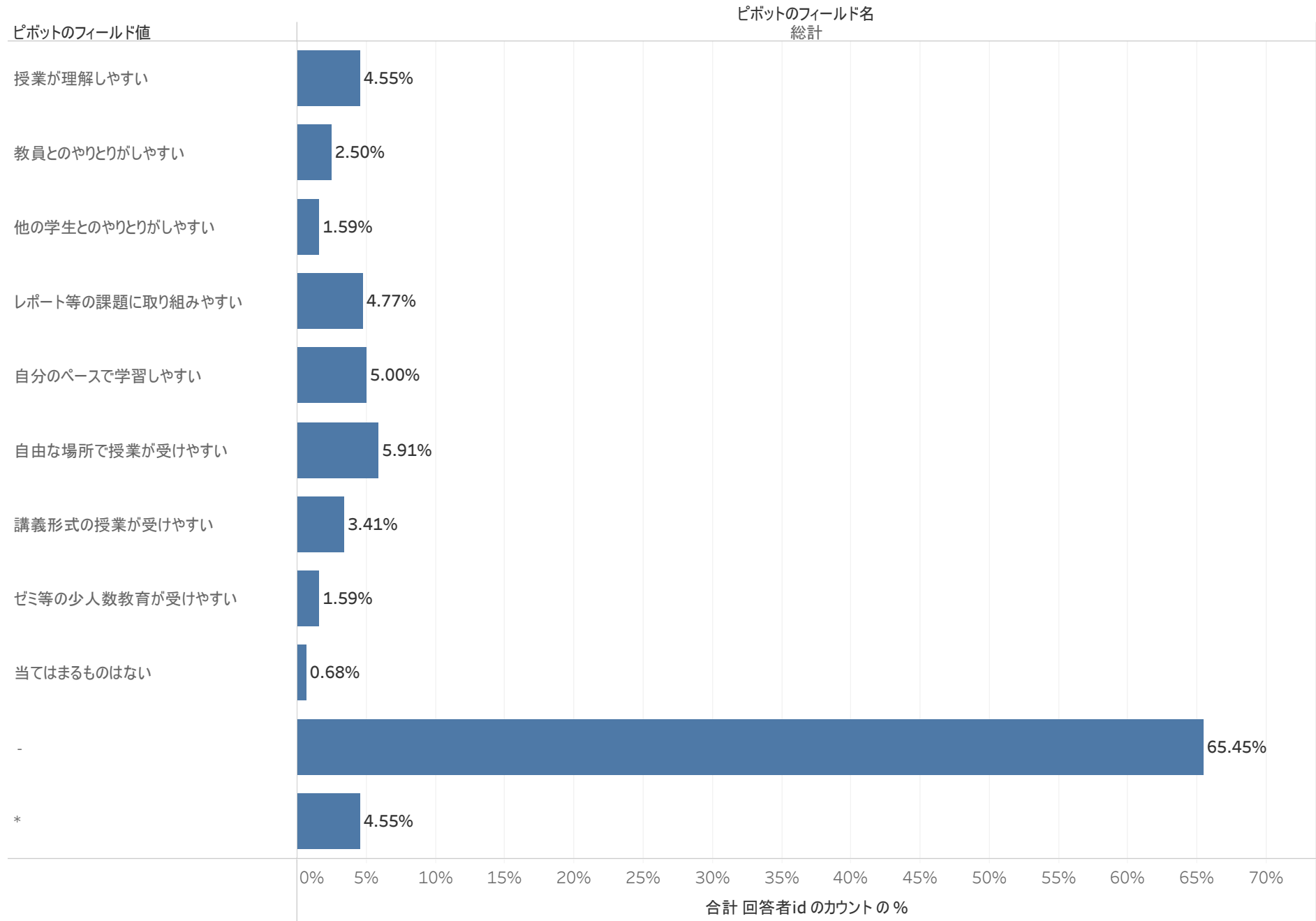
### 問7-2.2 昨年度と今年度に受けた授業のうち、次の授業形態の割合はそれぞれどのくらいですか (学年別)



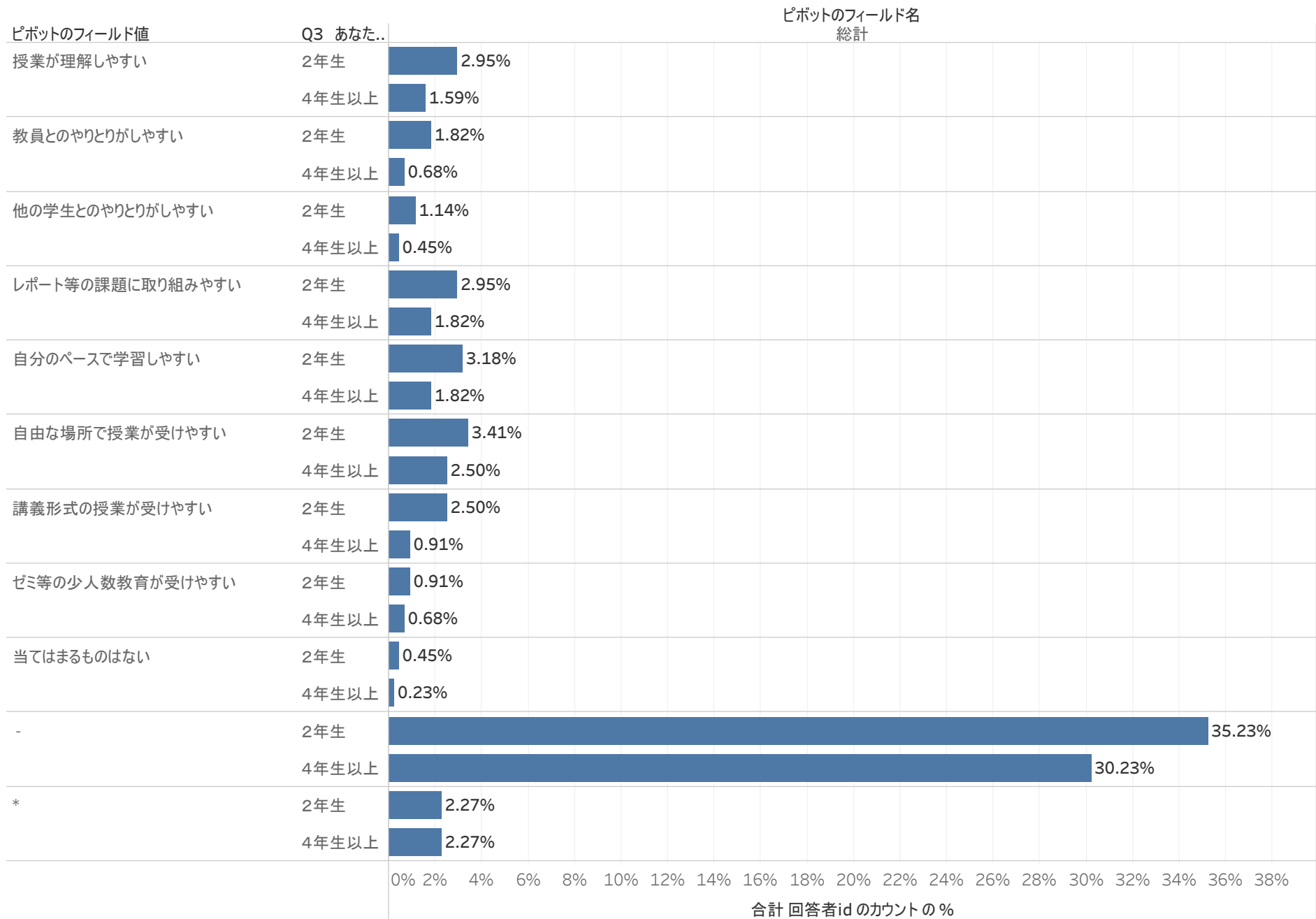
ピボットのフィールド値

- 9割以上
- 7-9割
- 4-6割
- 1-3割
- 0割

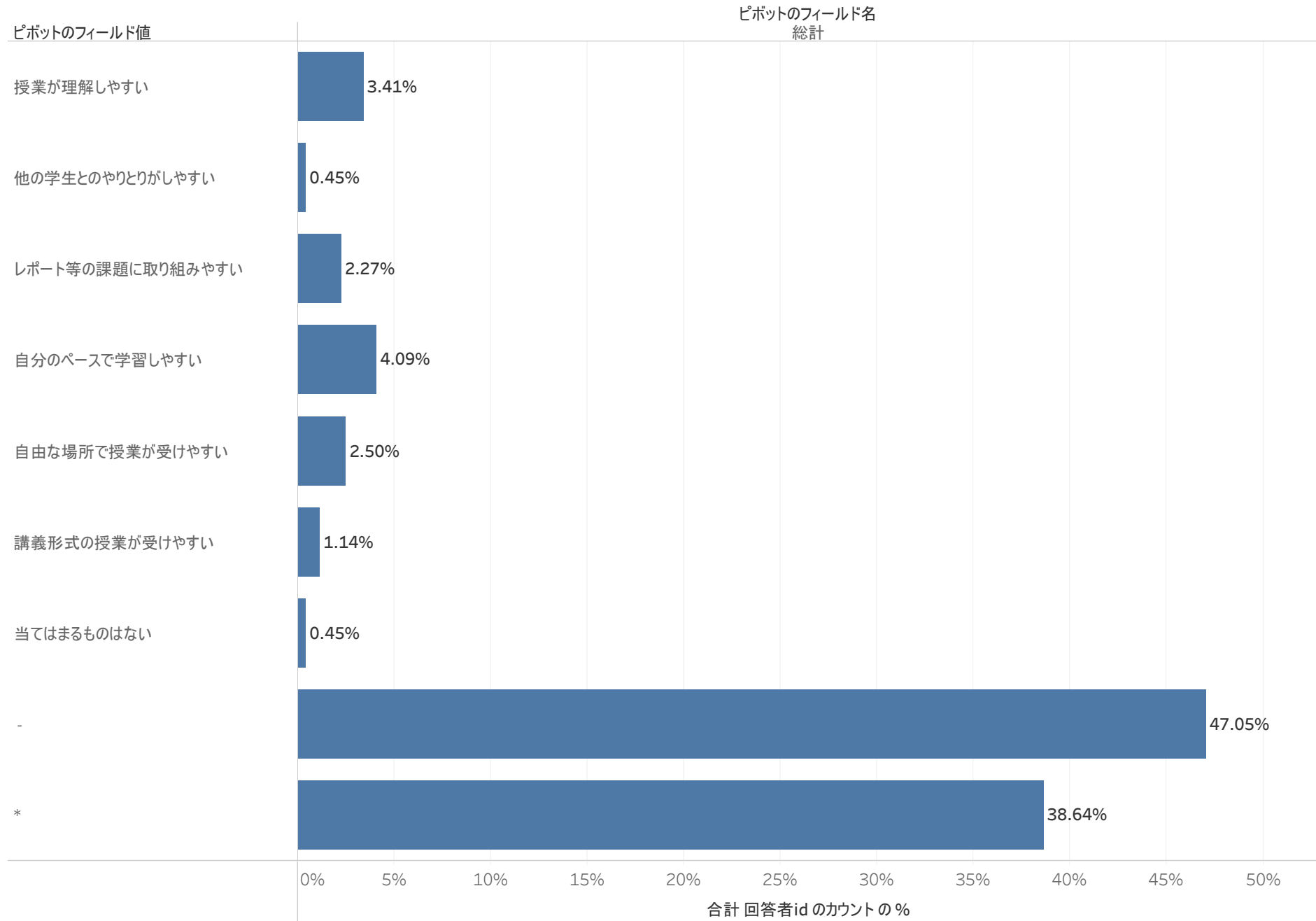
## 問8-1.1 これまで受けたオンライン授業(同時双方向型)の良かった点



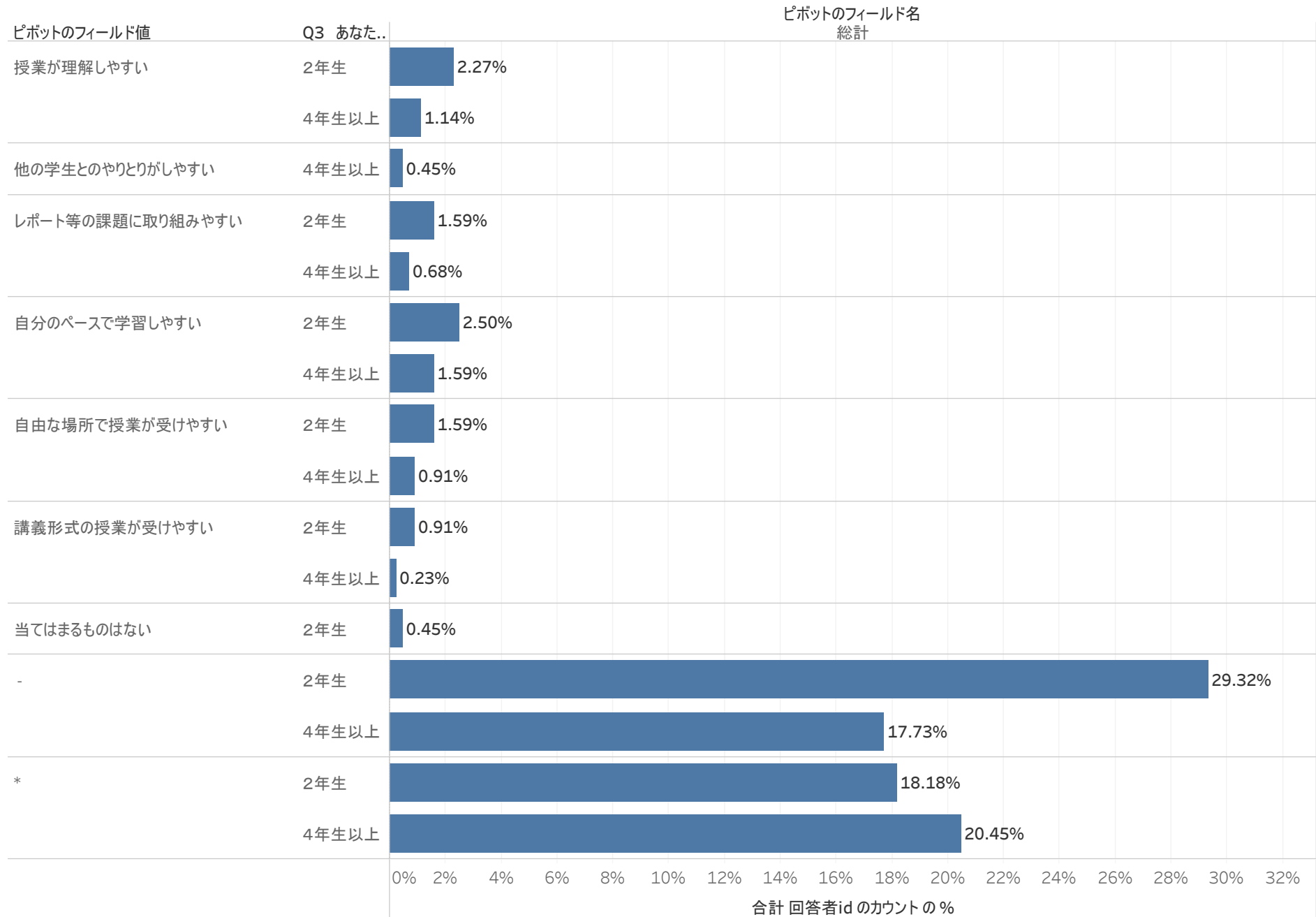
## 問8-1.2 これまで受けたオンライン授業(同時双方向型)の良かった点(学年別)



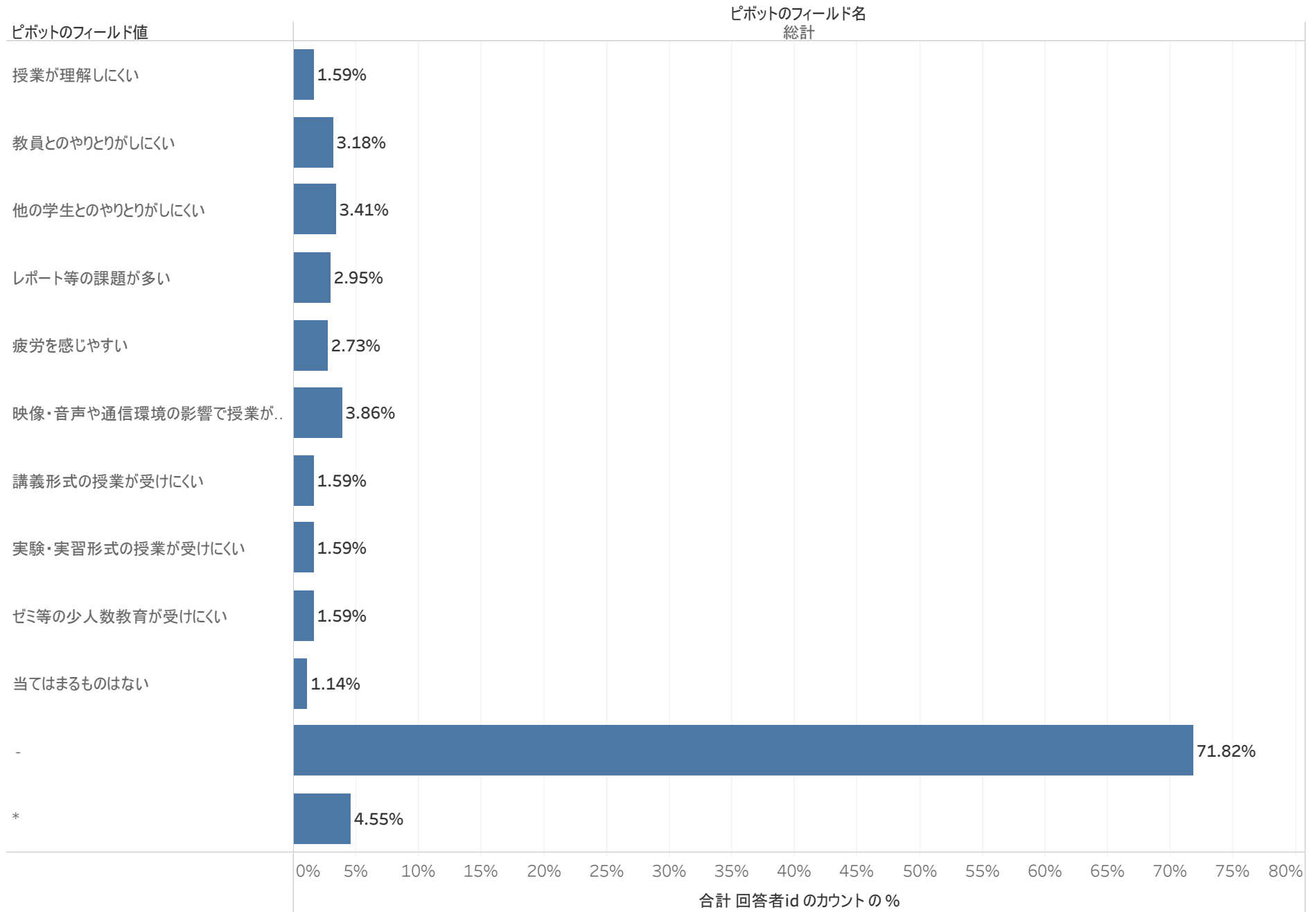
## 問8-2.1 これまで受けたオンライン授業(オンデマンド型)の良かった点



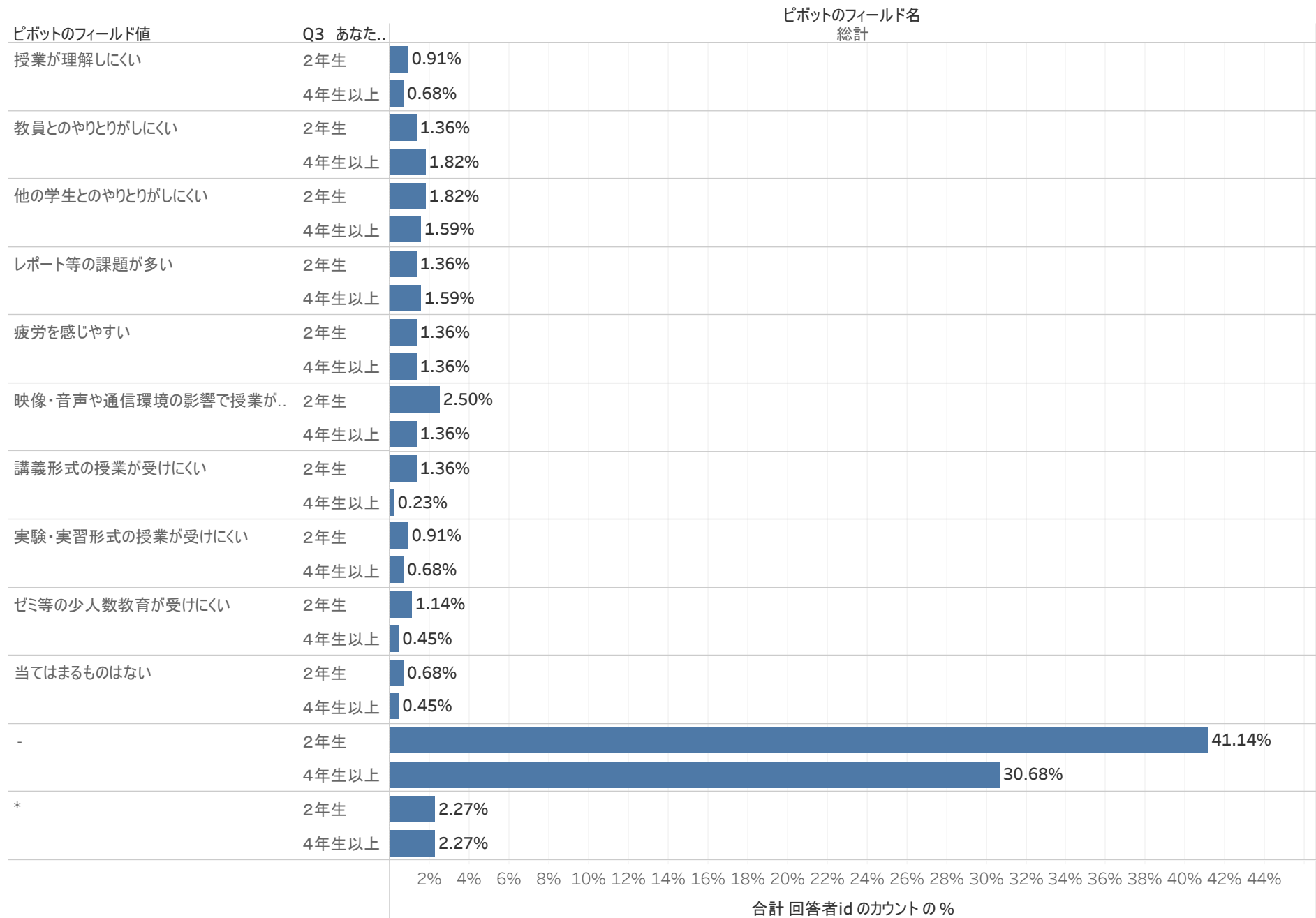
## 問8-2.2 これまで受けたオンライン授業(オンデマンド型)の良かった点(学年別)



### 問8-3.1 これまで受けたオンライン授業(同時双方向型)の良くなかった点

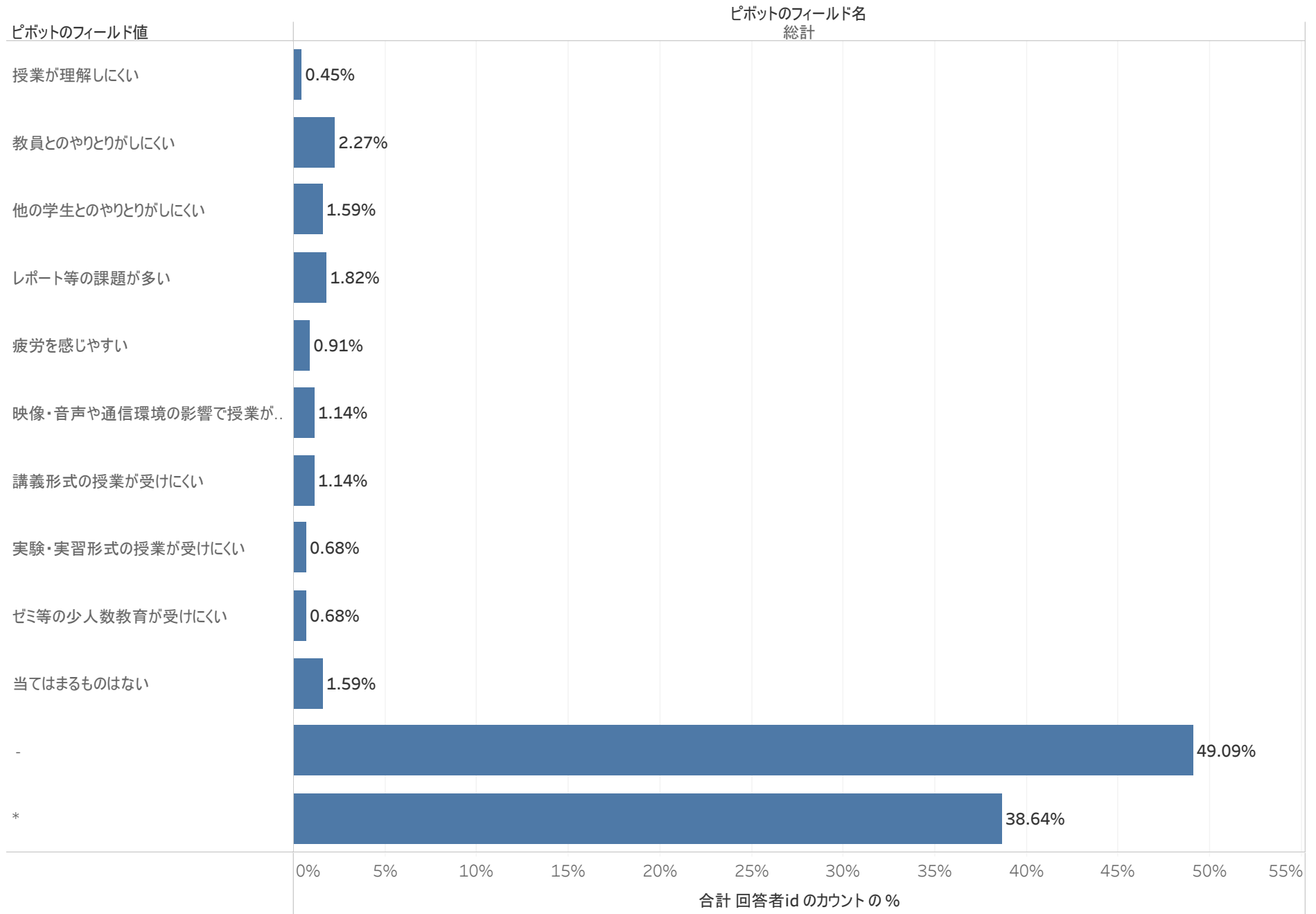


## 問8-3.2 これまで受けたオンライン授業(同時双方向型)の良くなかった点(学年別)

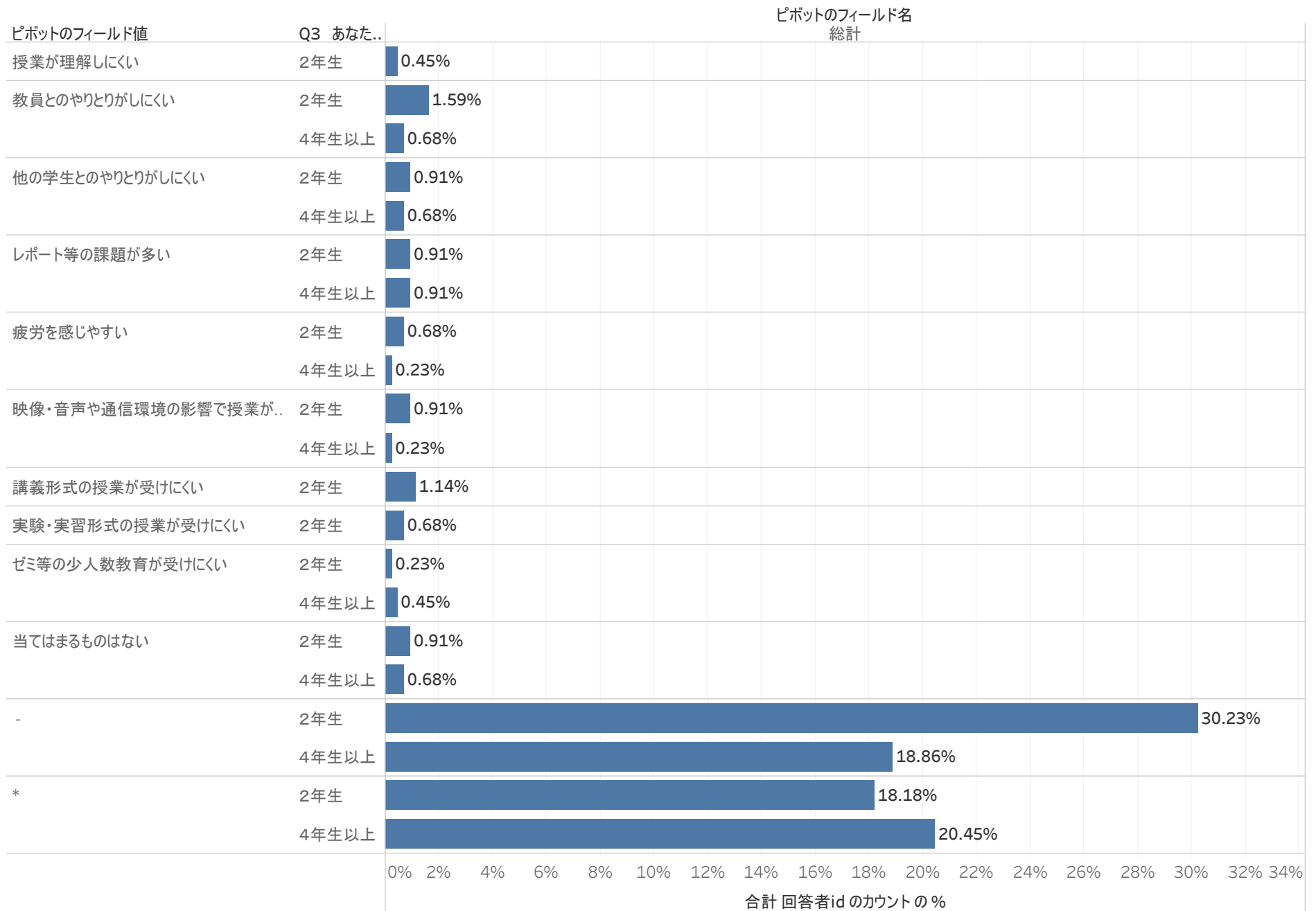




## 問8-4.1 これまで受けたオンライン授業(オンデマンド型)の良くなかった点



## 問8-4.2 これまで受けたオンライン授業(オンデマンド型)の良くなかった点(学年別)



## 問9 大学での学びについて意見がありましたら教えてください

Q3 あなた.. ピボットのフィールド値

2年生 オンライン授業での学習は慣れたが、対面授業の少なさが現実である。ゼミでの授業は、対面の方がやりやすい。

課題減らして欲しい。

学費を全額支払っているため、全ての授業において対面式を望んでいる。

自分自身の目指している就職先の情報を一緒に共有してほしい

大学に通う意義を感じない。ゼミだけのために大学に通う必要性を感じない。

本来の大学の本質がオンライン講義によって失われてるのにも関わらず、施設費などを多額に支払ってることあまりいい印象を持たない

4年生以上 zoomにおいて生徒側が顔を出して受講する授業はほとんどなく、先生が私たちの顔と名前を一致させているのか疑問に感じていました。私たちの顔と名前を把握していない先生に、成績を委ねるといのは少し抵抗があります。また、課題はこぞとばかりに出してくるのにも関わらずそれに対するフィードバックや点数の開示がないため「提出＝単位」のような流れに疑問や不公平感を感じました。改善すべきところや良かった点を先生からフィードバックしてもらうことでより、その内容への理解や関心が深まるのになと思い残念でした。

オンライン授業は批判が多い。小・中学校は対面が多いが大学は少なすぎる。

コロナウイルス問題があっても対面の方が嬉しい。

## 問10 本調査について意見がありましたら教えてください

Q3 あなた.. ピボットのフィールド値

2年生 今からでも入学式開催してくれ、一つ下が羨ましい

施設費の使用頻度が減ってるのにも関わらず施設費が減額されないのは、国として容認しているのか？

特になし

4年生以上 ないです。四年間ありがとうございました

大学独自の授業評価アンケートでは講師からのフィードバックはあるものの、改善したのかしていないのかハッキリしないので、このような公的機関でのアンケート結果はしっかり改善に繋げてほしいと感じます。

特になし

## 学 生 調 査 報 告 書

－ 2021（令和3）年度－

2022（令和4）年6月発行

編 集 横浜商科大学管理本部 IR・情報メディア部 IR 課

発行所 〒230-8577

神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

横浜商科大学 IR 委員会

電話 045-571-3901(代)

mail [ir-office@shodai.ac.jp](mailto:ir-office@shodai.ac.jp)

無断で複写・転載することを禁じます。